

東久留米市軟式野球連盟大会規定

- 1、試合球場 滝山球場・柳泉園野球場
- 2、参加資格 東京都に在住または在勤、在校による個人又は事業所の組織する団体でチーム所在地が東久留米市内で有る事。
- 3、登録人数
 - ・ 1チームの登録人数は男女を問わず10名以上とし上限を設けない。
 - ・ 背番号は（監督・30）（主将・10）で 0～99迄
 - ・ 大会及び上部大会参加時登録は10名以上25名以内とする。
 - ・ 隣接地域登録（勤務地、居住地両方が神奈川、埼玉、千葉、山梨）の選手は参加申込書記載総選手数の1/3を超えない範囲で出場出来る。
- 4、大会
 - ・ 年間を通して、各クラス別数ブロックでリーグ戦を行う。
 - ・ クラスは一般の部「1部」「2部」「3部」と「壮年」「熟年」計5クラスとする。
 - ・ 各クラス各ブロック上位チームによる決勝リーグ戦を行う。
 - ・ 各チームの年間試合数は最低4試合行う（棄権試合を含む）
 - ※ 「壮年の部」と「熟年の部」の条件
 - 壮年の部 40歳以上とする。但し、35歳迄の登録は認めるが試合出場は3名以内とし投手にはなれない。
 - 熟年の部 50歳以上とする。但し、45歳迄の登録は認めるが試合出場は3名以内とし投手にはなれない。
 - * 特例として両クラスへの女子選手は制限は設けない。
- 5、試合球 ナガセケンコーボールM号（連盟より提供）
- 6、集合時間
 - ・ 試合開始時間1時間前に会場に入って受付を済ませて下さい。
 - ・ 試合開始予定時刻30分迄に、大会本部にメンバー表を提出し
 - ・ 対戦相手チームと（先攻・後攻）のトスを行う。
 - ・ その際、選手全員がユニフォームを着用していること。
 - ※ 試合開始予定時刻30分迄にメンバー表の提出がない場合は棄権とみなす。
- 7、順位の決め方
 - 1、 ポイント制 勝3点・負0点・引分1点・棄権負ー2点
 - ※ 棄権負けについて、試合中やむえず人数の不足が発生して棄権となった場合はペナルティーは課さない（負0点）
 - 2、 当該チームの勝敗による
 - 3、 失点率の低いチーム
 - 4、 得点率の高いチーム
- 8、昇格・降格規定
 - 1、 1部各ブロック最下位チームは自動的に次年度2部へ降格。
 - 2、 2部と3部は決勝トーナメントで準決勝戦進出4チームは上位クラスへの昇格の権利を得る事が出来る。
 - 3、 2部各クラス最下位チームは自動的に次年度3部へ降格。
 - ※ 但し、1部・2部・3部のチーム数により変更する場合がある。

9、試合規定

- ・ 試合時の人数について、試合開始時及び試合終了時には9名以上いなければならない。
- ・ ベンチは番号の若いチームが一塁側とする。
- ・ 先攻後攻は試合開始時刻30分前に監督又は主将が大会本部にてジャンケンで決める。
- ・ 本年度野球規則、競技者必携及び連盟取り決め事項によるリーグ戦方式で行う。
- ・ 試合は7回戦とし、試合時間は1時間30分とし、1時間30分を過ぎて新しいイニングに入らない。但し最終イニング先攻チームが勝っていて後攻めの攻撃が終了した時点で残り時間5分以内の場合はゲームセットとする。
- ・ リーグ戦では7回終了時又は時間終了時同点の場合は引分とする。
- ・ コールドゲームは4回10点・5回7点差とする。
降雨、日没等による試合の成立は、4回終了時とする。
- ・ 決勝トーナメント戦は日程の都合により短縮する場合があります。
1部は各クラス1位のみ、2部・3部は各クラス1位と推薦1チーム
壮年の部と熟年の部は年間4試合の都合で予定通り行う。
- ・ 決勝トーナメントの決勝戦のみ試合時間を1時間45分とする。
- ・ 決勝トーナメント戦で7回終了時又は試合時間終了時同点の場合は特別ルール（無死1塁・二塁）を1回行う、打順は継続打順とし、得点が同点で終了した場合は最終出場の9名の抽選で決める。
- ・ 抗議及び選手交代は、必ず監督又は主将がおこなう。

【DH制の導入】

- ・ 一般の部及び壮年の部において採用する。（採用は自由）
メンバー9名の中にDHを入れ、最後に投手を記入する。
試合開始後の指名は認められない。
- ・ 熟年の部は従来通り打者10人制を行う。（採用は自由）
- ・ 熟年の部投手が60歳以上の場合投手板から本塁迄を16mとする。
- ・ 危険防止の為、打者及び走者はヘルメット、捕手はヘルメットプロテクター、レガース、ファールカップを着用する事。
* ベースコーチもヘルメットの着用をお勧めします。

10、服装規定

- ・ ユニフォーム一式は、全選手同一の物を揃える事。
* アンダーシャツ・ベルトも統一の事。
- ・ スパイクは各人自由です。
- ・ 投手のサングラス使用を認める。但し、ミラーレンズは除く。
- ・ 野手がサングラスを尚の上に載せることを認める。
- ・ ネックウォーマーは黒・紺・グレー系色に限定。
- ・ 後付けフレアグリップの使用について、専用テープ等で完全に固定・被覆されたなだらかな形状な物であれば使用を認める。
- ・ アームスリーブは、野手は色の規制はなく片袖のみの着用可
投手は、アンダーシャツと同色で両袖着用とする。

11、その他

- ・ 用具は、全日本野球連盟公認（J S B B）の物を使用する。
 - ・ 素振りリング及び鉄棒の使用と球場内の持込みは禁止する。
 - ・ 次試合の準備アップ開始は4回終了時又は1時間経過とする。
 - ・ 試合中に、怪我等発生した場合は直ちに本部へ連絡する事後日の報告は認めない。
 - ・ 試合中ベンチには入れる人員は
 - ① ユニフォームを着用した監督、コーチを含む選手9名以上
 - ② チーム責任者1名、マネージャー1名、スコアラー1名の3名以内
- ※球場内での見舞金制度に加入していない方の怪我等の責任は、連盟では一切負わない。
- チーム単位でのスポーツ保険への加入をお勧めします。**

・ 天候不良時の対応

試合を決行するかしないかは当日朝6時30分迄に決定します。
中止又は遅延の連絡はチーム連絡責任者宛てにします。
グラウンドコンディション不良の場合、第一試合又は第二試合のみ順延として次の試合から行う場合が有ります。

☎連絡先 連盟携帯電話 090-8804-1491 (宮澤)